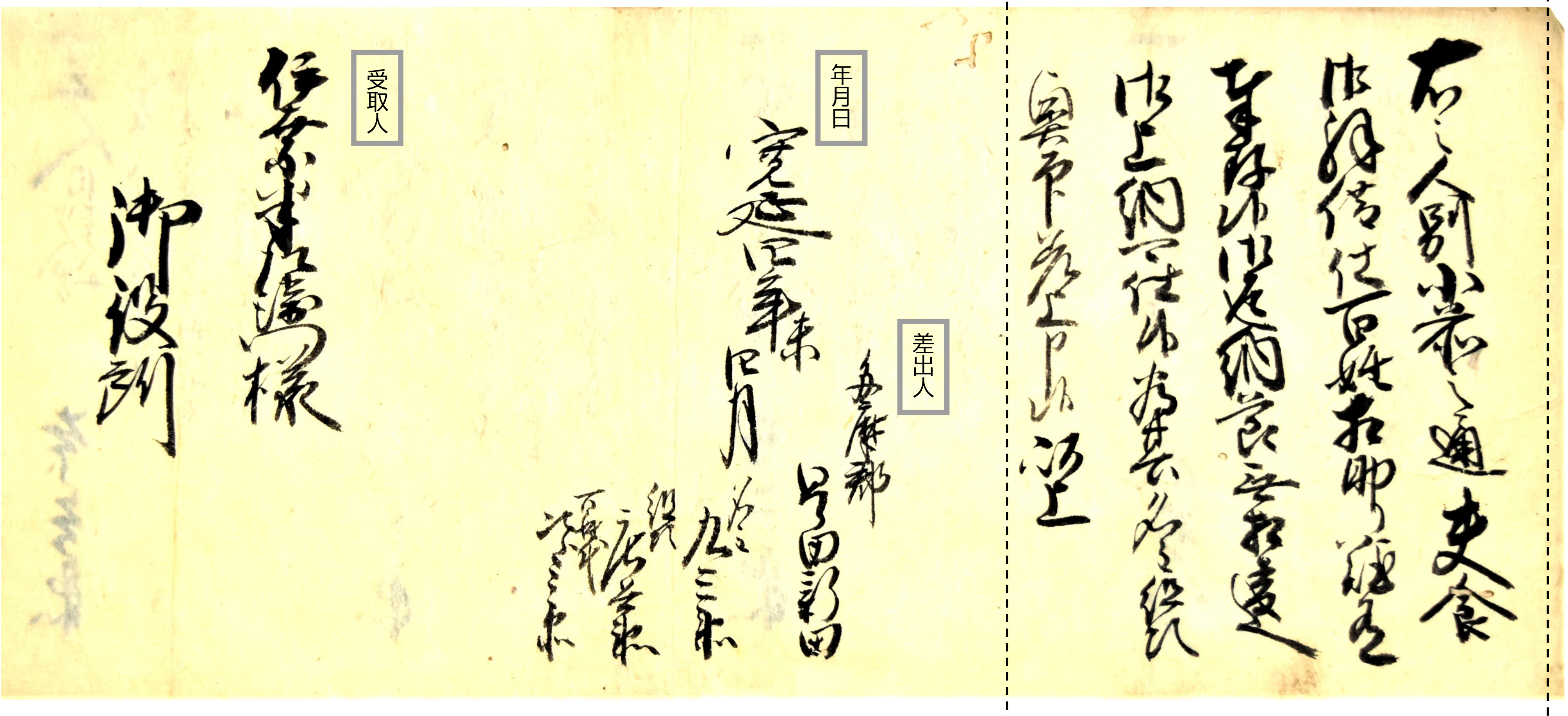
古文書解読にチャレンジ！19



※解答は受付でおわたししています。

くずし字をみて、マス目をうめてみましょう。マスの左側に読み解くためのヒント（用語解説）が書かれています。

□□□□□□□□、□□■■

□拝借□□□□□り□□■■（ありがたく）

□□□、□□□節□□□■■（ぞんじたてまつりそうろう）

□□□□□□、為□□□□□

奥印□□□□、□□■■■■

○用語解説

- 人別…にんべつ。人別帳（江戸時代の戸籍）の略。人数。人口。
- 小前…こまえ。本百姓。村役人等ではない、一般の百姓のことをいう。
- 夫食…ふじき。ぶじきとも読む。百姓の食糧で、主に雑穀をいう場合が多い。
- 夫食拝借…不作の時に、村が領主から食料を借りること。
- 奥印…文書の内容を保証し承認する意味で文書の奥（左端）に押した証判。
- 伊奈半左衛門…伊奈半左衛門忠辰（ただとき）。代官。今回の文書の提出先。

今回のテキストは寛延四年（一七五一）に多摩郡廻り田新田より伊奈半左衛門（伊奈半左衛門忠辰）代官役所に提出されたものです。この古文書の表題は「夫食御拝借小前帳」です。（小町家文書）　寛延四年に廻り田新田で食料を領主（伊奈半左衛門役所）から拝借した際に作成されたもので、食糧を借りた人数や穀物の種類などが書き上げられています。

本テキストとして使用している部分は本文にあたる箇所であり、食糧を借り受けたことへの感謝と、借りた食糧を間違いなく返納する旨が記されています。

凶作によって村の食糧が足りなくなると夫食拝借願が出され、その願いが聞き届けられると食糧の貸付がされました。このテキスト（夫食御拝借小前帳）は、村内で実際に借り受けた人数と食糧のリスト、それを相違なく返納することを名主ら村役人が領主に誓約したものです。